

農業機械実習 I

講師名	細川 健	実務経験等	農業研究センターや農業改良普及センターにおいて、普及指導員や専門研究員として作業技術や労働改善の業務経験を生かし、農業機械の利用について実習を行う。
-----	------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	必修	1	前期	30	1
使用教科書・副教材	自作テキスト					
授業の目的	トラクタを運転するために必要な道路交通法に基づいた安全運転の知識を学ぶ。					
授業の到達目標	大型特殊自動車免許(農耕用)試験を受験できる運転技術を習得する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
1日目	基本練習 運転走行練習	ガイダンス、基本操作手順・方法、学内コースの確認・運転練習	8	講義 実習	6/29～7/2: 野菜、花き 7/6～9: 農産、果樹 5/21、24～26: 畜産学科
2日目	運転走行練習	デモ走行、学内コース運転練習	8	実習	
3日目	運転走行練習	デモ走行、学内コース運転練習	8	実習	
4日目	運転走行練習	学内コース習熟度試験	4	実習	
	けん引体験	けん引装置を装着して運転操作を体験	2	実習	
7月16日	免許受験	希望者は免許試験場にて受験	4	実習	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

実技試験90%、平常点(出席状況及び学習態度)10%。

成績評価は、実技検定による習熟度を判定に加え、平常点を加えたものとする。

履修に当たっての留意点等

- ・実習は、「農業機械研修所」及び「トラクタ運転コース」で実施する。
- ・実習には、筆記用具を持参し、作業着、ヘルメットを着用すること。
- ・「けん引体験」の実習時間に耕うん体験を並行して実施(予定)。
- ・大型特殊免許(農耕車限定)の取得を希望する学生は、別途課外を受講する必要がある。
- ・免許試験受験は、最終日の他、10/14、15(推薦入試日)を設定している。